

おばなざわ 市議会だより



めざせ金メダル
ソチパラリンピック出場決定!!

おめでとうございます
おめでとうございませ

新年号 第80号 / 平成26年1月15日 発行

12月定例会

- * 補正予算・議案の審議…2-3
- * 一般質問(7名)…4-7
- * 行政調査報告 先進地に学ぶ…8-9
- * 広域組合議会報告…10-11
- * 私のひとこと・請願の審査結果…12

12月定例会

除排雪料、武道館耐震化工事委託料等補正予算を可決

一般会計補正予算 2億340万円

特別会計補正 予算 1億1,335万円

補正総額 3億1,675万円

議案の審議
空き家等の適正管理に関する条例

Q現在空き家は市内でどれくらいあるか。空き家の問題が進行している中、施行を1月1日からできないか。

A現時点で21件の空き



ぬ事故のないよう特段の配慮が求められる。

Aこれから設計業務に入り、また園児たちが入っている中で工事になるので工期は伸びていくと予想される。工事中はくれぐれも事故のないように細心の注意を払って進めるよう園の先生方にも喚起していきたい。

Q保育中の工事は、園児の安全管理が第一と考える。安全確保のため、予算を別枠で組む必要があるのでは。

A保育業務進行中の工事なので再度検討していきたい。

家が有る。代執行や罰則規定などもあり、周知徹底を図る必要があるため4月1日施行より早めることは困難と考える。

Q空き家等審議会を置くことになっているが、金銭や所有権などに関わる重要な組織となると思ふ。どのように運営していくのか。

A市長は、学識経験者と市民から5名以内を委嘱して審議会を組織する。審議会は、命令や解体などの代執行やその他適正な管理を実施するため、調査や審議を行うしていく。

審議日程

12/3(火)	本会議	市長提出議案の説明、議案の審議及び採決、請願の付託
12/4(水)	常任委員会	付託された請願・陳情の審査及び所管事務の調査
12/5(木)	本会議	一般質問で5議員が市政全般を質す
12/6(金)	本会議	一般質問で2議員が市政全般を質す 議員全員協議会
12/9(月)		議員全員協議会
12/10(火)	本会議	請願の採決、各補正予算及び条例議案の審議・採決

平成25年12月定例会は、12月3日から10日までの8日間の会期で開かれました。平成25年度一般会計・各特別会計の補正予算6案件ほか、条例の制定など2件を慎重審議した結果、いずれも原案の通り可決しました。

また、請願1件は継続審査となりました。

補正予算の審議

ふるさと尾花沢 応援基金

Qふるさと応援基金の現在高はどれくらいか。お返しはどのような記念品を準備しているか。また寄附金額に対する記念品の割合はどのようになっているのか。

A平成24年度末で1千7百万円余りとなっている。今年度寄附金を頂けば2千75万円ほどの基金残高が出ると想定している。寄附金を頂いた方へのお返しの主な物は、尾花沢スイカ、尾花沢牛ステーキ、すき焼きカルビ、お米つや姫や清酒翁山など、ふるさと特急便として29品目を用意している。寄附金額に対しての記念品の割合は、5千円未満の方へは銀山温泉の絵八ガキヤストラップ、1万円未満の方へは3千円程度、1万円から3万円まで

の方へは5千円程度、3万円以上の方へは5千円程の商品を2つ選択してもらうようにしている。県内自治体のお返し記念品の動向を見ながら対応をしていきたい。



国民健康保険 特別会計

Q中央診療所の副所長の内科医師が退任された。現在の診療患者数はどうか。新たな医師確保はどのようになっているか。

A診療患者数はあまり変わってはいない。しかし、医師一人なので待ち時間が長くなっている。医師確保については、県の派遣を仰いでいるが決まってい

緊急質問

議会最終日に大類準一議員と星川睦子議員の2議員が、虚偽公文書作成容疑で書類送検された問題について緊急質問を行った。

Q尾花沢市職員の採用試験結果関係文書の書き換えに関し、市職員の監督責任者である副市長の書類送検という事態が起きた。市長としての責任はどのようになっているか。

また、市職員採用試験にあたり、市長が副市長にまかせっきりに行っていることが、原因の一つと考えられる。このことについてどう考えているか。

る報告は、問題発覚時点で速やかに説明責任を果たすべきと思うが、市長はどのようになっているか。

A改めて市民の信頼を失墜させる重大な事故が発生したことを深くお詫び申し上げます。市全体の管理監督責任者として、任命権者として猛省し、処分を適切に判断したい。

今後は一切を任せることなく、実務面でもしっかりと管理監督を果たし、採用結果の過程も報告を受け判断していく。あらゆる規程、規則の見直しと規則に準じて職員と一体となって事務遂行をしていく。

議会への報告の件については議会へ真っ先に報告することを第一義に考えている。その日、緊急課長会議、記者会見があり、議員各位に連絡となった。今後さらに、迅速に適切に報告をしていく

い状況で、なお要請を続けていきたい。

Q社会福祉費が42万円ほど減額している。今年も豪雪が予想され、また灯油代や電気料が値上げされる中、低所得者で高齢者世帯への福祉灯油券発行を図ってはどうか。

A国、県の補助が打ち切られた中で、再び要請はしていくが、市単独発行も検討していきたい。

Q花笠ニュータウン定住支援事業は、残り何区画か。また、今後住宅団地の見直しはどうか。

A残りは1区画になり、新たな住宅団地造成などについては検討課題としていきたい。

おもだか保育園の耐震改修工事

Qおもだか保育園の耐震改修工事はどれぐらいの工期なのか。また、駐車場が狭い。そして、保育業務中なので思わ

Q先の全員協議会において、副市長は送検前の5日付で辞表を提出し、受理したと説明を受けた。問題化をおそれて公文書の差し替えを指示した責任は重大である。書類送検前の辞表を受理し、これをもって処分とすることに反対する。市長は辞表受理を撤回し、処分および再発防止の協議を図っていくべきではないか。

A行政事務の適正化については、緊急課長会議を開催し、規則規範を遵守するよう指示したところである。本市の実務において指導的立場である副市長がこのような事案が発生させたことを重く受け止めている。副市長も重く考え、身の処し方として自らの決断で辞表を提出したものであり、重要性を鑑みて受理した。

一般質問



尾花沢市議会中継

検索

尾花沢市ホームページより議会中継の録画が視聴できます。

今、景気回復に即効性のある観光産業の活性化が急務



塩原未知子 議員

Q 豪雪対策本部が立ち上がるまで、冬期間の臨時的な措置として、雪コンシエルジュ(案内係)を設置し、雪に関する問合せ・情報発信窓口を一元化する考えはないか。

A 問い合わせに迅速に対応するためには、全職員に対する知識の向上が不可欠であり、問合せ内容に関する担当課を明示し、広報誌や市ホームページに掲載するなど、情報の提供に努めたい。

Q 公共データのデジタル化にともない、地図や観光パンフレット、

統計データや歴史的価値のあるコンテンツなど、税金で創造したすべての公共データ、行政の情報は、ルールを守って、閲覧利用可能にするオープンデータの考えはないか。

A 政府において国家戦略として「電子行政オープンデータ戦略」を掲げ、オープンデータ推進のため環境整備を進めており、県でも、市町村を対象に勉強会を実施している。本市においても、データを一元的に管理し蓄積すれば各種データの分析が容易となり、新たなサービスやビジネスの創出も期待されるので、調査、研究を進めたいと考えている。

Q DCキャンペーンを成功させるために観光



銀山の足湯

A 市内観光地では徳良湖に5箇所あり、銀山温泉の3カ所のトイレについては、受入客の環境向上のため以前から新たに設置する要望があるが、土地の問題や銀山温泉組合とのコンセンサスと協力が必要なことから、今後の課題としたい。

安全な自然エネルギー開発の積極的な取り組みを



石塚ミツ子 議員



Q 危険な原発に替わる安全な自然エネルギー開発の取り組みは進んでいるか。その進捗状況はどうか。

A 地域資源を有効活用できる新エネルギーの導入に向け、「新エネルギー推進会議」を立ち上げ、再生可能エネ

ルギーの可能性と居住空間の無雪化への活用について調査研究を進めている。

Q 高齢者や病弱世帯の出入りに、固い雪を置かないなどの配慮をした除雪になっているのかどうか。拡充をすることはあるか。

A 特別な事情で具体的な対応が必要な場合は、区長や民生委員などを通じて受託業者との調整を行い、可能な限り対応していきたいと考えている。

Q 収入が減らされ、灯油が高止まりになっており、公共料金の相次ぐ値上げで苦しい生活が強いられている人々に、昨年同様福祉灯油券を発行する考えはないか。

A 今年度の事業実施に

ついては、燃料の価格の変動に注視しながら豪雪対策本部が設置されるような状況になれば、福祉灯油券の交付について検討していきたいと考えている。また、この制度に対する国、県からの助成は少なく、今後とも一緒に要望活動を進めていきたい。

Q 介護保険改悪で利用料が上がると、介護サービスが削られ、さらに使いつらくされるようである。要支援1・2の人が保険から外され、市町村に丸投げとなるため、介護水準を下げない対応をどのようにするのか。

A 新しい事業への移行は、平成29年度までの移行猶予期間を設け、各市町村の実情に応じ、柔軟かつ効果的なサービスとなるよう、体制を整えるという案で審議中である。

回復保育・病後児保育の実施を要望



青野 隆一 議員

Q 議会答弁での「検討する」は、当面明確な態度を回避する場面が多いため、言葉を使い分け、「検討する」としたことは、年1回書面報告できないか。

A 市単独で判断ができ、また予算化が可能と判断されるものについては、「推進する」「検討する」「調査研究する」などの回答を行えるのではと考えている。

Q 行財政改革プランの推進には、「外部委員による事務事業評価や行政評価制度の導入も検討する」とあるが現在の進捗状況はどうか。

なっているか。

A 新たな行政需要に対応していくためにも、事務事業評価の実施に向けて準備を進めている。行政評価制度は、第6次総合振興計画後期基本計画の策定を進めるうえで、実施を検討している。

Q 地域内に元気な声の響く福原小学校を目指すために、廃校となる各小学校単位で何か一つ行事を実施してはどうか。

A 各地域での植栽活動などは、できるだけ各地域の行事などに参加する方向で検討中である。運動会などの学校の維持管理や練習日も含めた移動などの対応が困難で、福原小学校を活用した行事を考え

ている。
Q 子育て支援策として病後児保育・日曜保育・放課後児童クラブの一時預かりを実施してはどうか。

A 病後児保育は今後の検討課題であるが、休日保育の実施については、ニーズ調査を行いながらABESAを拠点とした休日預かり事業を来年度から試行的に実施するよう検討している。放課後児童クラブの一時預かり事業は、利用できる体制づくりを考えている。



ABESA 休日一時預かり

防災士資格取得に助成を



小関 英子 議員

Q 各地区の自主防災会における活動状況と市としてどのような助成や支援がされているか。自主防災会の機能向上また市民の意識向上のために、民間資格の防災士資格取得に助成を

A 各地区の活動状況については、市内11地区で自主防災会や消防団による防災訓練が開催されている。中でも毒沢地区では約140名の市民が参加し、消防訓練のほか、水害を想定した水防訓練を行い、また、禁町地区消防団を中心に防災訓練を実施

した。活動に対する市の助成は、今年度新たな制度「自主防災組織向上支援制度」により3地区11万2千円、中でも新町東地区では研修会の経費を助成した。また「防災資機材購入補助制度」により、31万円が5地区に助成された。

現在NPO法人日本防災機構による「防災士」という民間資格がある。各自主防災会がより機能し防災に対する市民の意識を高めるためにも、資格取得に対し助成する考えはないか。

A 「防災士」については、最近、新聞やメディアで取り上げられており、10月末現在、全国で7万人、県内でも35人が認証登録を行っ

ている。近年、自然災害が多発していることもありその登録者は年々増えている状況にある。「防災士」は、自助・共助・協働を原則とし公助との連携充実に努め、社会の様々な場面で減災と社会の防災力向上の活動が期待されており、具体的には避難や救助、避難所の運営などにあたり、ボランティアの方々や協働して活動が期待されている。さらに調査研究して前向きに検討していきたい。



防災訓練

農業を崩壊させる政策について



大類 準一 議員

Q 農業政策を根底から変革するような動きが出ている。TPPの関税交渉や減反政策廃止などこれまでの農業を崩壊させるような政策に対し、反対運動をするべきではないか。

A 今後ともJAをはじめとする農業団体や生産者グループなどとの意見交換を行い、農業経営に支障がないように国に要望していきたい。今後は、地域にあった集落営農や法人組織などを通じて、経営基盤の強化を図るほか、人・農地プランを積極的に推進し、農業生産

額の拡大に努めていきたい。

子育て支援策として保護者の負担軽減などこれからどう進めていくのか。老朽化している保育園の改築についてはどうか。学校統合による空き校舎の活用として、スポ小の練習場や学童保育を考えるとどうか。

A 平成27年度より「子ども・子育て支援法」に基づき、保育制度も新制度に移行される。その内容を踏まえ、負担軽減策も含めて検討したい。各施設については常に点検確認し、必要に応じて随時改修や修繕を行いながら、今後は地域交流の場などとして活用していきたい。



健康の面から推進されているが、現状はどうか。また、地域に根ざした食育のあり方を検討し、啓蒙普及を考えるとどうか。

国の米政策の見直しの中で本市農業の展望は



菅野 修一 議員

Q 26年から5年後を目途に減反廃止が政府において示された。農政はどう改革していくのか。

A 今回の5年後の減反廃止の方針は、食生活の変化に伴う消費量の減少傾向を踏まえ、需要に見合った生産を推進する方向や農家の経営規模拡大、さらに、6次産業化の推進など農家の創意工夫で所得を拡大し、後継者確保と国内農業を維持可能なものにする内容となっている。本市の農業においても経営所得安定対策の見直しなどに

対応するとともに、創設される日本型直接支払制度を活用し、農地の集積・集約の円滑化や新規就農、後継者確保に向け、人・農地プランの全集落作成に取り組んでいきたい。

Q 飼料米生産に重点が置かれているが、課題は何か。

A 本市における飼料用米生産は、主食用品種（あきたこまち・はえぬき）の取り組みが約7割である。飼料用米の生産は需要の拡大が大きなポイントと思われる。来年度から飼料用米生産に数量払いが導入されることから、専用種の種子確保が課題になると考えており、本市に適した品種を県に要望していきたい。

Q 本市の友好都市である岩沼市植樹祭



岩沼市植樹祭

る岩沼市は、東日本大震災の巨大津波で海岸部の7地域集落が悲惨な壊滅的被害を受けた。今、岩沼市は復興計画「千年希望の丘」整備事業に取り組んでいる。本市は、友好都市の絆として市民募金や千年希望の丘への植樹ボランティアを実施してはどうか。

A 今年の植樹祭は、6月9日に仙台空港の東側下野郷地区で実施され、本市を含め全国各地から4、500名が参加した。来年度は、5月31日に予定されており、本市においても市民に公募し、植樹ボランティアに参加する方向で進めていきたい。

生涯学習団体などの活動に十分な配慮を



奥山 格 議員

目張りして使用できるように考えている。

Q 政府の減反廃止の決定は、コメの価格の下落につながり、離農者を促進させるのではないか。

A 新たに創設される日本型直接支払制度の活用と、経営所得安定対策への対応を行いながら、本市農業の活性化を図っていきたい。

Q 住宅リフォーム補助制度は大変好評であり、来年度も継続を考えているか。

A この制度は、定住対策の推進にもつながるもので、県との連携を図り継続して進めたいと考えている。

Q 東京で行われた大芋煮会や企業セミナーの成果はどうか。

Q 中央診療所の内科医師が退職し、業務が大変忙しくなり、患者の待ち時間も長くなったが、医師の早期確保をどう考えているか。

A ドクターバンクへの医師求人登録を行うとともに、日本医科大学や県地域医療担当部局に対して協力を要請していきたい。

Q 国道37号の鍋越峠の通年通行をみすえた試験的除雪の安全対策はどうなっているか。

A 雪崩対策や落石対策工事などに入る予定である。また、試験除雪を実施して、必要な雪崩対策箇所を明確に把握し、発生源対策を講じていくと聞いており、市としても両県に雪崩事故防止対策を要請していきたい。

◎兵庫県豊岡市
新庁舎建設に係る
取り組みについて
モダンな外観を残
した入口は、旧庁舎
を一部取り入れた創
り。また、安心安全
な庁舎建設のため、
耐震ではなく免震に
していた。建設位置
は、都市計画などの
影響を勘案し現在地
とした。70億の建設
費は、合併特例債60
億などを使用。建設
については市民への
周知と意見の反映に
力を入れており、尾
花沢市でも基本構
想・設計の説明会の
開催、はがきメール
での意見募集などの
周知を徹底したい。

ない、そばに注目し
ブランド化を推進
し、素人そば打ち段
位認定を目指してい
る。
子供からお年寄り
まで段位を取得して
いる。
「そば」は、10 a
当たり生産額3万
円、粉にして6万円、
麺にして12万円、店
に出して40万円と言
われている。少しず
つ生産量を増やし、
庁舎の隣で製粉・製

◎三重県いなべ市
特産物のブランド
化及び6次産業化
について
猿がイタズラをし



▶豊岡市役所

◎愛知県大町町
まちづくり基本条
例について
行政だけでは解決
ができない問題を、
住民が考え・決定・
実行していく仕組み
作りを始めた。10数
年かけて紆余曲折、
ようやく皆から話が
出てくるようになった。
地区の自治組織
が出来、自分たちの
地区の問題を自分た
ちで考え、自分たち
で決めて解決してい
く。地域と行政の役
割を明確にし、自立
と共助のまちづくり
はやっと始まったば
かり。ここまで出来
たのは、職員の地道
な努力があったから
こそと思われた。

◎愛知県東郷町
環境保全に貢献する
発電事業について
愛知調整池の落差
を利用した発電所
は、最大1000 kw
の発電が可能で、施
設内の全電力をまか
ない、余剰電力を売
電することで、年間
1億5千万円の収益
がある。

◎三重県玉城町
情報通信技術を活
用したまちづくり
事業について
従来の
バス運行
を、平成
23年1月から10人乗
りのバスによる電話
などの予約方式に切
り替え、バス停を14
か所に設置し、全線
無料運行を行っている。
町としては、高
齢者の外出支援を行
うことで、積極的な
通院や介護予防教室
への参加を促しなが
ら、将来的な医療費
の抑制につなげたい
という、行政全体を
見渡したトータルコ
ストの考え方に立っ
ているところが素晴
らしい。



◎三重県度会町
医療福祉複合型安
心住宅について
全国でも例の少な



▼小水力発電のタービン

い廃校を活用した医
療福祉複合型施設
『わたらい』は、1
階が診療所と小規模
多機能型居宅介護、
2階がグループホー
ム、3階が、サービ
ス付き高齢者向け住
宅となっている。廃
校を改装することで
建設コストを大幅に
抑えることができ、
国民年金受給者でも
入居可能な家賃を実
現している。
学校は、地域に慣
れ親しんだ建物であ
るため、利用者も気
軽にはいれると言
い、いつも地域の
方々がたくさん訪れ
て活発な地域交流が
行われている。また、
医療法人と度会町と
で災害協定を締結す
るなど、相互の連携
が非常に良く、これ
から廃校を多く抱え
る本市としても、大
変参考となる視察で
あった。

報告 先進地に学ぶ

◎福岡県福津市
6次産業の成功例
「あんずの里市」
約20年前、30人の
女性グループで軽ト
ラックの荷台を利用
し青空市を始めた。
本人たちの小遣い稼
ぎ並び家計の一部に
当てようと始めた女
性パワー。20年後の
今、このような経営
状況を想像しただろ
うか。『女性が主役
の農業を！を合言葉
に、地道に行ってきた
取り組みが、女性
ならではのしなやか
さで確実なあゆみで
す。』と関係者は話
す。あんずの里市で
は食育の取り組みで
も、平成14年度から
地元産野菜を地元小
中学校へ給食食材と
して30品目を超え、
野菜購入量の50%を
担っている。『九州
地方は直売所メッカ

とも称され、競争が
激しさを増している
が品物がよければ、
必ず生産者にファン
が付く。農協・漁協
も組合員であり、T
PPに入っても直売
所は生き残れる。』
と語る柴田組合長。
この力強い経営理念
に感動させられた。

◎福岡県川崎町
有害鳥獣被害防止
対策
川崎町の有害鳥獣
侵入防止金網設置
は、雪がないため年
中設置している。事
業効果は多きものが
あり、景観は悪いが
今後事業を続け被害
を防止していく、
と担当課は話す。

整備事業間伐整備の
成果を今後期待した
い。
◎長崎県大村市
農業生産法人「お
おむら夢ファーム
シユシユ」
一次産業（農業生
産）を基本とし二次
産業（加工）、三次
産業（販売）の一貫
性を確立した6次産
業を目指す。安心・
安全・新鮮をモツ
トに旬の味を生か
し、消費者の方々に
感動を与える。



「生活が安定する農業」を提案し実践している。

現在、尾花沢市議
会では「議会基本条
例の制定」について
学習検討を進めてい
る。
この度、議会活性
化と開かれた議会の
視点から、議会運営
委員会として2市議
会を視察研修してき
た。

成する議会改革調査
特別委員会を設置
し、その中にさらに
8名で構成する議会
基本条例策定小委員
会を組織し、計27回
の委員会で検討さ
れ、平成25年10月に
施行された。説明者
の秋山副議長は、何
のために議会基本条
例を策定するのかを
議員全員で議論し、
認識を共有して策定
に踏み出すことが大
切と力説されまし
た。

議会活性化特別委員
会が設置され、「議
会活性化と市民参加
」を目標に、改革
検討すべき6つの柱
を設定した。特別委
員会の期限を2年と
し、この間30日開催
し、5回議員全員協
議会に中間報告され
ている。
特に市民参加型議
会のあり方につい
て、議会報告会を開
催したり、市民アン
ケート調査を実施し
た。また、真剣な検
討の過程の中で議会
基本
条例
の制
定も
達成
され
まし
た。



◎茨城県常陸太田市
議会
「議会活性化の取
り組みについて」
議長選挙は立候補
制と改革されている
中、「議会の活性化
を推進する」ことを
表明された前議長が
当選した。
その後、議会に11
名の委員で構成する

◎栃木県下野市議会
「議会活性化に係
る議会基本条例制
定までの流れにつ
いて」
下野市議会は、平
成22年9月、議長を
除く全議員20名で構



北村山広域行政事務組合議会

10月23日村山市議 2376万円、歳
場において、定例会 出は1億1451
が開催され、尾花沢 万円で、24万円の黒
市、村山市の議員の 字となりました。つ
改選にともない議席 づく平成25年度一般
の変更があり、副議 会計補正予算を歳入
長に大類準一議員 歳出それぞれ1億
が、議会運営委員副 1341万円とし
委員長に塩原未知子 ました。
議員が選任されま 平成24年度の主な
した。この日上程さ 事業としては
れた議案は4議案で、平成24年度一般
会計歳入歳出決算を 食などに合わせた天
認定しました。一 文シヨ一の観測会の
般会計歳入は1億 ほか、春、夏、冬と
センター祭りを行な

い、季節ごとのプラ
ネタリウム特別番組
を開催しました。
▽映画やプラネタリ
ウムによる移動学習
では管内の小学校、
幼児施設からの利用
が多く、夏休み、冬
休みの活用のほか、
老人クラブやふれあ
いサロンなどの利用
もありました。
▽情報提供活動は、
自作教材やふるさ
との教材映像の制作
なども行うことも

に、ビデオ教材から
DVD教材への更新
整備をさらに進め
ました。
また、12月25日、
臨時議会において
は、大石田町、村山
市の議員の改選にと
もない、村山市の鈴
木健治議員が議長に
当選したほか、監査
委員に大石田町の関
孝悦氏が、教育委員
会委員に尾花沢市の
岩崎雄策氏が選出さ
れました。

北村山公立病院組合議会

12月24日に第3回
定例会が開催され、
空席となっていた副
議長に海老名幸司村
山市議会議員を選任
しました。次に、消
費税増税などに伴う
使用料及び手数料条
例の一部を改正する
条例の制定、三市一

町負担金の額の減額
補正、患者数の増減
に伴う平成25年度事
業会計補正予算の3
議案が上程されまし
た。東根市の河村豊
議員が「入院患者数
が減っているのは
医師の減少が原因
か」と質したところ、

「ピーク時38人いた
医師が現在では27人
となり、医師数と患
者数は比例するため
医師の確保に努めた
い」との答弁があ
り、何れも原案の通
り可決されました。

広域組合議会の報告

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

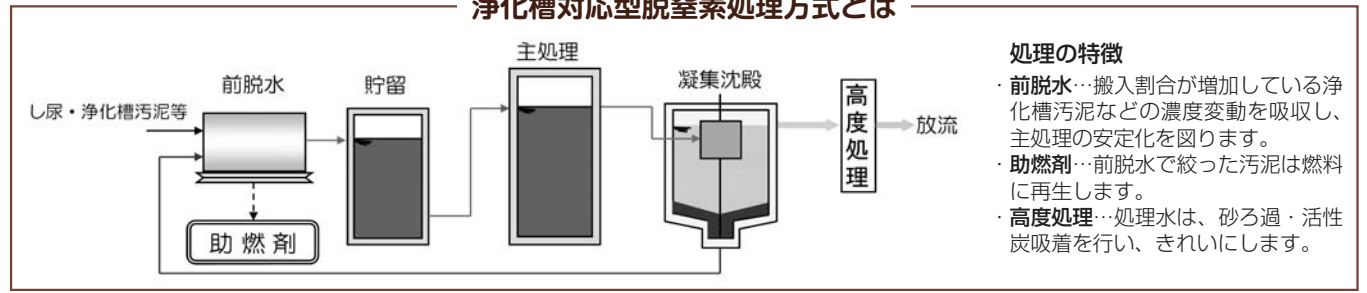
○12月臨時会
平成25年12月17日組
合議場で12月臨時会が
開催されました。
平成25年度一般会計
補正予算は、電気料金
の値上げに伴う需用費
の増額や火葬場の空調
設備の改修に伴う工事
請負費の増額など89万
5千円を追加し7億8
709万8千円としま
した。公共下水道事業
特別会計補正予算は、
銀山維持管理費として
65万円を追加し、6億
2341万2千円とし
ました。
組合議会議員選出監
査委員の辞職に伴い、
その後任として大石田
町の村形昌一議員が選
任されました。
○斎場白菊苑空調設備
改修事業
冷温水発生機（灯油
を燃焼して、冷水と温
水を作る装置）
冷房時、装置の内部

に冷水をつくる蒸発器
の部分が損傷し、冷房
が効かない状態になっ
た。
蒸発器部分は、溶接
構造となっており、分
解修繕ができないた
め、現在は冷房が完全
に効かない状況になっ
ている。
冷却塔については、
設置後17年が経過して
いるため、冷温水発生
機と同時に交換が必要
となっている。
○し尿処理施設整備事
業について
し尿処理施設は、市
民市民の生活排水を適
正に処理するため、引
き続き重要な施設です
が、昭和52年の稼働開
始から36年が経過し、
老朽化のため建て替え
が必要になっていま
す。
また、稼働当初は、
し尿の割合がほとんど
でしたが、近年は、生

活様式の変化から浄化
槽汚泥・農集排汚泥の
割合が増えているた
め、これに対応した施
設整備が求められてい
ます。
現在、平成28年11月
の供用開始に向け、本
事業の業者選定のため
の入札手続を進めてい
ます。



浄化槽対応型脱窒素処理方式とは



	補正総額	増減
事業費用	53億9932万円	▲3370万円
赤字見込み額	1億1864万円	▲2147万円
三市一町実負担額	2億8397万円	▲1309万円
年間入院患者数	9万5281人	▲5049人
年間外来患者数	11万2365人	+3585人

議会 会 日 誌

- 10月**
- 1日 市民厚生常任委員会
 - 大相撲尾花沢花笠場所総会・解散式・懇親会
 - 知事と語る市町村ミーティング
 - 尾花沢市総合防災訓練
 - 6日 総務文教常任委員会行政調査（10日）
 - 8日 産業建設常任委員会行政調査（11日）
 - 9日 第13回まるだし尾花沢ふれあいまつり開会式
 - 12日 全員協議会
 - 15日 国道347号改良促進に係る要望活動（県関係）
 - 16日 みやぎ尾花沢会通常総会・懇談会（仙台市）
 - 19日 やまがた美しい森林づくり推進大会（天童市）
 - 21日 環境衛生事業組合議会 全員協議会
 - 22日 北村山三市一町議会議員研修会・交流会
 - 23日 国道347号改良促進に係る要望活動（国関係）
 - 24日 北村山広域行政事務組合議会 定例会
 - 25日 市民厚生常任委員会
 - 27日 環境衛生事業組合議会 10月定例会
 - 寺内小学校閉校記念式典・思い出を語る会
 - 尾花沢市消防団第1分団防災訓練
 - 28日 市民厚生常任委員会行政調査（30日）
 - 31日 全員協議会
 - 国道347号改良促進に係る要望活動（仙台）
- 11月**
- 3日 名木沢小学校閉校記念式典・思い出を語る会
 - 林活研修会（村山～東根方面）
 - 8日 山形県市議会議長会報研修会（新庄市）
 - 10日 福原中部小学校閉校式典・児童発表会・思い出を語る会
 - 11日 婦人防火協力班防火のつどい
 - 消防団ポンプ交付式
 - 小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式
 - 県・市町村行政懇談会
 - 尾花沢市平和を願う集い
 - 第44回尾花沢市遺族大会
- 12月**
- 13日 第130回山形県市議会議長会定期総会（米沢市）（～14日）
 - 15日 全国過疎地域自立促進連盟第121回理事会・第44回総会・要望活動（東京）
 - 17日 おばなざわ大芋煮会（東京）
 - 18日 荻袋小学校閉校記念式典・思い出を語る会
 - 議会運営委員会行政調査（～19日）
 - （栃木県下野市・茨城県常陸太田市）
 - 20日 第32回北方領土返還要求山形県民大会（米沢市）
 - 第13回尾花沢雪対策シンポジウム
 - 21日 市民厚生常任委員会
 - 総務文教常任委員会
 - 22日 除雪車出動式・産業建設常任委員会
 - おばなざわ花笠まつり部会報告会
 - 尾花沢市青少年健全育成市民集会
 - 25日 山形県市議会議長会 県知事・県議長への陳情
 - 市民厚生常任委員会・議会運営委員会
 - 26日 会派会合・全員協議会
 - 27日 北村山公立病院例月出納検査
 - 29日 尾花沢市民賞受賞者選考委員会
 - 1日 第11回尾花沢地区キンボール大会
 - 3日 12月定例会本会議
 - 4日 産業建設常任委員会
 - 5日 本会議
 - 6日 一般質問
 - 10日 本会議（最終日）
 - 尾花沢市ふるさと振興公社勉強会
 - 産業建設常任委員会
 - 議会だより編集委員会
 - 17日 北村山公立病院議会運営委員会
 - 環境衛生事業組合議会 12月臨時会
 - 議会基本条例検討委員会勉強会
 - 産業建設常任委員会
 - 総務文教常任委員会
 - 23日 太田渉子選手激励会
 - 24日 北村山公立病院組合議会 第3回定例会
 - 25日 北村山広域行政事務組合議会臨時会

私のひとこと

僕の夢は山形を笑顔にする事です！

僕がパフォーマーになつたきっかけは、ある大道芸人さんとの出会いでした。

当時、彼は修行のため「大道芸だけで日本一周」を目標に旅の途中に山形に来ていて、たまたま彼のパフォーマンスを見たのです。それは衝撃の一言でした。

歩いてる人が立ち止まり人垣を作る、一つパフォーマンスをすることで盛り上がり、みんなを一瞬にして笑顔にする。

毎日が同じ事の繰り返しで笑つことも少なくなっていた自分が、その人のパフォーマンスを見ての間は、時間も忘れて笑顔になっていました。そんな自分

いただきパフォーマンスをさせていただいております。ありがとうございます。

自分はまだまだ未熟者です。これからも練習を重ね、いずれは山形県民全員から知ってもらえるような、愛されるパフォーマーを目指して頑張つていきたいと思ひます。

次のイベントは「ゆざ鱈ふくまつり」1月19日(日) 12時から、会場は遊佐町マルチドーム「ふれんどりい」です。活動の詳細はホームページ「パフォーマーたつみ」で検索してください。



本名：迎見竜二 (へんみりゅうじ)
昭和63年生まれ
原田在住

パフォーマーたつみさん

継続審査になった請願

◎平成25年請願11号
主要地方道尾花沢最上線市野々地区道路改良工事の整備促進に関する請願

市野々区長 押切栄一

◎行政視察にいられた議会

福島県会津若松市議会「公志会」3名
12月24日(火)
銀山温泉活性化の取り組みについて

表紙写真

ソチ冬季パラリンピック日本代表に選ばれた太田渉子選手(新町・北村山高校卒)の激励会が12月23日開催されました。

(右) 日立ソリューションズ石川浩常
(中央) 太田選手
(左) 日立ソリューションズスキー部
荒井秀樹監督

議会傍聴に是非どうぞ



市議会だより編集委員

◎塩原未知子

○青野 隆一

菅野 修一

五十嵐佳満

大類 好彦

武田 佳久

星川 睦子

◎委員長 ○副委員長

あとがき

「私たちは明治以来、世界の先進国に学び成長してきたが、いまやこの国は、登山ではなく下山の時代に入ったように思う。」と作家の五木寛之さんが書いています。100年以上続いた小学校が次々と閉校し、地域から消えてゆく、まさに下山の時代です。

尾花沢市は、急激な少子高齢化をむかえ、他の市町村に先駆けて山を下りなければなりません。右肩上がりの時代とは違う物差しや価値観が必要とされる知恵比べの時代です。

昨年の副市長辞職など一連の屈辱的な事件をしっかりと検証しながら、住みやすいまちづくりが推進され、全てが飛躍して「うま」く行くよう祈ります。

(青野 隆一)

尾花沢市議会
インターネット中継
市のホームページからアクセスできます
www.city.obanazawa.yamagata.jp